

2018年4月4日

サウジアラビアにおける MMA モノマー及びアクリル樹脂成形材料プラントの
本格運転開始について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）とサウジ基礎産業公社（Saudi Basic Industries Corporation, 本社：サウジアラビア王国リヤド、CEO: Yousef Al-Benyan、以下「SABIC 社」）との合弁会社である The Saudi Methacrylates Company（以下「SAMAC 社」）は、サウジアラビアにおいて、メタクリル酸メチル（MMA）モノマー及びアクリル樹脂成形材料（PMMA）のプラントを建設、試生産により製造された MMA 及び PMMA が製品仕様に適合することを確認した上、昨年 11 月から一部出荷を開始していましたが、この度運転最適化の最終確認作業が完了し、4 月 2 日から本格運転を開始しましたので、お知らせします。

SAMAC 社は、強いコスト競争力を持つサウジアラビアのガス原料、ユーティリティ、インフラを最大限活用し、エチレンから MMA モノマーを製造する当社グループ独自の技術「新エチレン法（アルファ法）」を用いた世界最大規模の MMA モノマープラントと、MMA モノマーを主原料とする PMMA プラントを立ち上げ、運営することを目的として設立されました。世界の MMA モノマー需要は、今後も世界経済の成長とともに堅調な伸びが見込まれており、当社は、SAMAC 社を、アジアを中心に、ヨーロッパ、中東、アフリカなどの市場にも対応する戦略的な供給拠点として活用していきます。

また、当社は、既に公表しております通り、米国におけるシェールガス由来のエチレンを原料にした新エチレン法（アルファ法）の 25 万トン MMA モノマー製造設備新設について、事業化調査を実施しております。今後、当社は、MMA 事業の世界ナンバーワンシェアを維持し、圧倒的な競争優位性を維持するため、サウジプラントの安全安定運転に注力するとともに、米国での新設計画を含めて、世界各地域に配置するプラントの最適な生産体制を構築してまいります。

SAMAC 社の概要

社名： The Saudi Methacrylates Company

代表者： 社長執行役員 Ben Harris

所在地： サウジアラビア王国アルジュベイル地区

設立日： 2014 年 6 月 9 日

資本金： 1,350 百万サウジリヤル (約 360 百万 US ドル)

資本構成： 当社 50%※、SABIC 社 50%

事業内容： MMA モノマー (年産 25 万トン) および PMMA (年産 4 万トン) の製造

※ 本プロジェクトのために設立された日本サウディメタクリレート合同会社 (当社 100%) を通じて出資



以 上

本件に関するお問合せ先
(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
電話: 03-6748-7140